

6.12.2 海域生態系

6.12.2.1 調査

1) 調査の概要

既存の現地調査及び現地調査の概要は表-6.12.2(1)に示すとおりである。調査地点を図-6.12.2(1)に示す。

表-6.12.2(1) 調査結果の概要

調査項目	調査時期	調査地点	調査方法
基盤環境	サンゴ類、海藻草類、魚類、大型底生動物： [既存の現地調査] 平成13年8月9日～9月5日 平成14年8月14～23日 [現地調査] 平成15年8月20～27日	事業実施区域前面海域を中心に、海水の流れや流入河川を考慮し、通路川河口付近のトゥールグチから白保にかけてのリーフ内	事業実施区域周辺調査海域の地形、基質（砂、礫等の非生物的基質、サンゴ類、海藻類等の生物的基質）、物理的環境条件（波浪、潮流）、化学的環境条件（水質、底質）等の状況について整理した上で、生物群集との関係を整理
地域を特徴づける注目種	海藻草類（ガラモ場構成種分布調査）： [既存の現地調査] 平成14年11月11～15日 [現地調査] 平成15年11月17～22日		事業実施区域周辺の「地域を特徴づける生態系」の指標となる注目種として、事業実施区域周辺海域を特徴づける基盤環境であるサンゴ礁や海藻場等に生息し、食物連鎖の中で上位に位置する魚類等に注目して出現種を調査し、物理・化学的な環境要因との関係を整理
生態系の機能と構造	[現地調査] 魚類胃内容物調査 平成15年8月19～25日、 11月19～22日 葉上生物調査 平成15年8月20日		生物の種間関係を把握するため、食物連鎖の上位に相当する魚類の胃内容物と魚類の餌料となっている葉上生物を調査し、主要な食物連鎖及び栄養段階を整理。 また、生息基盤の類型区分ごとに、物質循環や生物の利用に関する機能を整理